



学校だより 令和6年1月号

文蔵小通信

さいたま市立文蔵小学校

〒336-0025 さいたま市南区文蔵5-16-29

TEL 863-0721 FAX 836-1583



【文蔵小ホームページ】

やり抜く力

校長 渡邊 勝利

明けましておめでとうございます。お健やかに令和6年度を迎えられたことと思います。児童・保護者・地域の皆様にとりましても、充実した1年になりますよう心よりお祈りいたします。

さて、新年といえば、初詣に行き、これから始まる1年を展望しながら、手を合わせて新たな目標を決め、挑戦を決意した方もいるのではないのでしょうか。新年は、大きな夢をもち、新たなことに挑戦する良い機会でもあります。この文章を読まれている方の中には、目標を決め、既に行動に移している方、目標を決めたがまだ行動に移せていない方、様々だと思います。人がなかなか行動に移せない、実行できない、長続きしないのはよくあることです。そこで、以下の言葉を紹介いたします。

『心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。』（ウィリアム・ジェームズ）

まずは、簡単なことからスタートしてみてもいいでしょうか。環境を少し変えたり、楽しみながらやってみるのもいいですね。少しずつが積み重なり、やがてその行動が習慣となることでしょう。習慣となればしめたものです。簡単な例で説明しますと、例えば、外出するときに「靴を履くのが面倒だからやめた。裸足で行く。」とは普通なりません。また、「何かすることはないかな～。何だっけ…。」ともなりません。靴を履くのは当たり前ですし、習慣化されています。繰り返し行動すると、最初は億劫だったことも習慣化されていきます。さらに継続すると人格が変わり、いつかは運命が変わるかもしれません。よく言われることですが、実際に行動できる人は全体の2%位だそうです。つまり、実際にやってみたい、自分でもできそうだと思っても、98%の人はやらないのです。世の中見渡しても、成功した人は実際に行動したこの2%の中の人です。何もしない98%の人の仲間になるか、行動する2%の人になるか、自分自身が決めることです。

目標として決意したことを最後までやり抜く意思の強さ、実際に行動する実行力。この力が将来の社会を支えていく子どもたちに今強く求められています。先が見えないこの不安定な世の中ですが、失敗を恐れずやり抜く力の育成を意識して、今後も学校運営を進めていきたいと思っております。

2学期の終業式で、子どもたちに「小学校生活の中で必ず身に付けておきたい3つのこと」について話をしました。「返事」「あいさつ」「靴を揃える・椅子を入れる」の3つです。この3つはどれも簡単なように感じられるかもしれませんが、意外とできていません。「冬休みもお家でやってみよう。」と声掛けしましたがどうだったのでしょうか。御家庭でも引き続き声掛けをお願いするとともに、保護者の皆様自身におきましても、御家庭で実践していただければより効果が高まります。

今年度も残り3か月ですが、引き続き、教職員一同最善を尽くし、「全ては子どものために」をモットーに教育活動を推進してまいります。御理解と御協力のほど宜しくお願い致します。